

特定分野事業

- ネーミング枠 14事業
- 分野指定枠 1事業

ネーミング枠	一般財団法人さいたま住宅検査センター 住まい・まちづくり支援事業
事業名	訪ねたい・使い続けたい建築選定事業
法人名	特定非営利活動法人 都市づくりNPOさいたま【さいたま市】



活動内容

バリアフリー、アートなど都市計画の範囲を幅広く捉えて、大学教員、コンサルタント、自治体職員などから構成される都市づくりの専門家集団として活動しています。また、他の団体と協働した活動を積極的に対応しています。

事業取組

1950年代から2000年代にかけて建築された公共的利用をしている建物を訪れ、「訪ねたい」「使い続けたい」建物として再び活躍の場与えられる足がかりとなるよう県内各地を訪れ、お話を伺い、それらの情報を取りまとめたwebページを作成しました。
また、それらの建物の調査結果やコミュニティセンターなどに活用する取組を発表するシンポジウムを実施しました。

事業成果

83件の建物情報、コラム・街歩き案内などの記事合計14本を収録したwebページを構築することができ、県内には優れた社会資本が形成されてきたことが実感できました。
今後もこれらの地域資産を活用し、豊かな地域空間を醸成していくために、市民の活動を促すための機会や情報の提供を進めたいです。



総事業費

459,770 円

助成額

450,000 円

ネーミング枠	株式会社富士薬品ドラッグセიმス 環境保全支援事業
事業名	都市近郊に『緑のオアシス』を造成保全する手法を開発する
法人名	特定非営利活動法人 自然環境観察会【上尾市】



活動内容

都市化で自然生態系が減少している大宮台地北部の桶川や上尾などの空き地に多様な植物を保全し「緑のオアシス」を作り、チョウやクモ、鳥などの「いやしの生き物」を温存する活動を行っています。地域の観察会や環境学習会も行っています。

事業取組

上尾、桶川、幸手、久喜などの休耕田、空き地、庭の一角に多様な植物を植栽した「緑のオアシス」を創成し、餌植物、蜜源植物、秋の七草を植栽し、土着の生き物、昆虫類や鳥類が集まるように保全しました。そこで動植物の発生数調査をするとともに、地域の親子、子どもを対象に野外観察や体験学習、田植え、イナゴ採集会などを開催しました。

事業成果

緑のオアシスでナミテントウ、ジャコウアゲハ、トンボ類、70数種を保全候補種に選定しました。それらの成果は広報誌、オンライン研究会・講習会などで公表しました。
今後は、県内の都市(住宅街)、農村(休耕地)、森林、あぜ道などの空き地の一角に、生活の質を高め、有用な生き物が集まる「緑のオアシス」の造成方法を地域に普及していくとともに、緑のオアシスの広報や観察会・標本作りなどの環境学習を対面やオンラインで積極的に推進していきます。



総事業費

501,320 円

助成額

500,000 円

ネーミング枠

株式会社富士薬品ドラッグセイムス 環境保全支援事業

事業名

液肥の効果的・効率的活用の普及促進事業

法人名

特定非営利活動法人 小川町風土活用センター 【小川町】



活動内容

地域由来の資源を循環活用することによって、地域産業、地域社会を持続的に発展させる活動に取り組んでいます。主には、家庭生ごみ、学校給食残渣をバイオガспラントで処理を行い、液肥を生産し生産農家で活用しています。

事業取組

- プラント運営の経済性向上や、より効果的に液肥を使えるようにするために、次の活動を行いました。
- (1)液肥の効果検証
農家7軒の協力を得て、液肥散布による畑の土の変化、及び作物の出来栄への差異を確かめました。
 - (2)土壌の改良方法
SOFIX農業推進機構の方々に現場視察をしていただき、土壌分析結果に対する的確な改良方法をご教授いただきました。
 - (3)液肥散布の労力軽減
自動車に接続して作動する電動ポンプを使った液肥散布装置を6軒の農家にモニター使用してもらい、最も効率的な散布装置を作り出すことができました。

事業成果

専門機関の調査により、土の状態に対して処方すべき資材は液肥だけではなく、幅広く地域由来の農業資材を使うことの大切さが理解できました。

また、従来のバケツを用いた散布に比べて、液肥散布装置による労力軽減効果が大きいことが確認できました。これにより散布時の労力が課題の液肥を農業資材の選択肢として手軽に使えるようになりました。

地域に存在する有益な資材を効率よく使っていきけるようにしたいと思います。

総事業費

505,099 円

助成額

500,000 円

ネーミング枠

金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業

事業名

ホテルの里の子育て事業

法人名

特定非営利活動法人 熊谷市ほたるを保護する会 【熊谷市】



活動内容

原風景の残る熊谷市江南地域には、6月になると自生のゲンジボタルが縦横無尽に用水を飛び交います。10年前、ホテル等が捕獲される状況を受け、地域を挙げて「熊谷市ほたるを保護する会」を設立し、行政と連携した保護活動に取り組んでいます。

事業取組

当法人はホテル保護のため、里山整備を積極的に進めています。下刈りなど実施している里山3,500㎡の土地を本会に寄贈する申出があったため、今回の補助金を受けて、この里山を子育て世代が積極的に活用していただけるように調査を実施しました。また、保育園や幼稚園、こども園、小学校など近隣の幼児を扱う機関の約1,000人に対してアンケート調査や、里山保全の進め方をより深く理解するため先進地視察を実施しました。

調査結果の発表は事前のチラシ配布時の感触は良かったのですが、コロナの急速な拡大で出席者は想定よりも少ない結果となってしまいました。

事業成果

アンケート結果で、里山整備に時間が取れれば親子で参加したい人が回答の半数の200人いました。来年度からはこれらの人が里山整備活動に親子で参加していただけるよう事業を進めてまいります。

また、アンケート分析などを依頼した機関からホテル出前講座の依頼がありました。こちらからも働きかけてより多くの機関に当法人の活動を知り、御協力いただけるよう活動を続けていきます。

総事業費

504,555 円

助成額

410,000 円



特定分野事業

ネーミング枠	金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業
事業名	埼玉ハンノウ大学リバービーチ・キャンパス事業
法人名	特定非営利活動法人 埼玉ハンノウ大学【飯能市】



活動内容

飯能市の全体を大学の「キャンパス」に見立てることでメディア化し、まちに関わるすべての層が参加できる「授業」を出会いの場として、課題や志を持った市民・企業・行政のネットワークづくりを行っています。

事業取組

飯能市内にある河川域は、自然美溢れた地域として年間を通じて多くの川遊びやキャンプを楽しむ人々で賑わっています。その反面、利用客のマナーの悪さ、ゴミの放置などが問題となっています。本事業では「都心に一番近い自然豊かな川を守り育てる」ことを掲げ、市民が憩う河原(リバービーチ)を大学のキャンパスと見立て、地域住民が理想とする、清く美しい川づくりを目指した親子を対象とした自然環境保全教育を実施しました。



事業成果

全5回の授業を実施し、定員の50組100名の方にご参加いただきました。コロナ禍の開催となり、定員を各回10組20名までと絞らざるをえず、参加を希望したが叶わない方々が多く出てしまいました。運営に当たっては、ポスターの駅構内への無料掲示や遊漁料の免除、釣り道具一式と救命ジャケットの物品の提供と複数の企業と協働できた事は大きな成果でした。この連携を継続するためにも、令和4年度も同様の「リバービーチ・キャンパス」事業を計画しています。

総事業費	608,632 円	助成額	500,000 円
------	------------------	-----	------------------

ネーミング枠	埼玉織物工業協同組合 災害救助・防災支援事業
事業名	令和元年東日本台風復興支援・防災支援事業
法人名	特定非営利活動法人 チーム東松山【東松山市】



活動内容

まちづくり・コミュニティカフェ・東日本大震災被災地復興支援の3事業に加え、2019年10月の令和元年東日本台風の支援を契機に、社会福祉(フードバンク東松山)・災害支援の2事業を追加し、東松山市を中心に活動を続けています。

事業取組

2019年10月の令和元年東日本台風の直撃により東松山市内では600以上の世帯で水害が発生しました。災害から2年が経過した現在でも被災者の生活再建は道半ばであり、今回の事業では特に高齢被災者の希望する移転元地や浸水した田畑の除草作業、浸水した危険樹木の伐採などを「復興ボランティア」として実施しました。

また、次の災害に必要な防災支援体制づくりとして、被災当時小学校4年生であった宮城県東松島市の若き語り部を招いての学習会や宮城県を訪問してコミュニティ再生の取組や防災の取組の話を伺うなど、東日本大震災被災者との交流を通じた防災体験学習を実施しました。

事業成果

復興ボランティアについては延べ50名が参加し、学習会には東松山市内の高校生や大学生の防災サークルを含め82名の参加がありました。今回の事業を通して、どこでも発生する危険性のある災害の対応として、地域住民にも災害ボランティア活動がどのようなものか示すことができました。今後、東日本大震災の被災地、各自治体や災害ボランティア団体と連携する体制づくりにも尽力したいです。



総事業費	661,277 円	助成額	600,000 円
------	------------------	-----	------------------

ネーミング枠	損保ジャパン代理店JSA中核会 防災・地域安全支援事業
事業名	防災カフェ事業
法人名	特定非営利活動法人 わが街さやまの防災ネットワーク【狭山市】



活動内容 平成26年8月に活動を開始し、防災に関連した啓発活動並びに地域の防災力の向上を目指しています。また、女性防災リーダーの育成を目的とし、いつ起きるか予想出来ない大災害において、要援護者を置き去りにしないよう、「顔の見える関係」そして「絆づくり」のため防災カフェを開催し、地域に寄り添った会となっています。

事業取組 専門家の話を聞き、参加者同士が防災について交流したり、防災食の作成体験や試食を実施する防災カフェの開催を予定しておりましたが、突然のコロナ禍となったため、大会場で人数制限し十分な参加者同士の距離を取ることで安全管理を徹底した講演会としての開催となりました。11月・12月・1月に開催し、3回とも防災問題を多面的に捉える、造詣の深い講師6人に登壇していただきました。目から鱗の斬新な内容で大好評でした。応募者も多く、定員オーバーにより御参加いただけない方も出ました。

事業成果 講演会では3回の実施で合計114名に参加いただきました。従来の活動にはない方法での実施となりましたが、今回の事業を通して狭山市民大学、消防団、社会福祉協議会、民生委員・児童委員協議会などの協力者の方々と当法人の会員とが一致団結できたと実感しました。また、多数の応募者があり、今までの活動が地域においてご理解いただけているとも実感しました。コロナ禍の先行きが不透明な状況の中で、歓談が難しいようであれば、カフェ事業は今後も講演会としての開催を検討していきたいです。

総事業費	460,998 円	助成額	450,000 円
------	-----------	-----	-----------

ネーミング枠	あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 地域安全・災害救援支援事業
事業名	わが子を守るママ達の防災ママ連携構築事業
法人名	特定非営利活動法人 彩の国ママ倶楽部【東松山市】



活動内容 育児経験があるママ達が育児中のママ達を全力で応援するため、さまざまなイベントを開催する法人です。年に2回公共施設にて無料イベント「マザーズ・デイ」を開き子育てママ達への感謝祭を行ってきました。令和元年10月には台風19号による河川敷氾濫の水害支援を行い、企業団体からの衣類・おむつ・ミルク等の支援を頂き、子育て中のママ達の目を通して瞬時に必要な支援活動を行うことができました。

事業取組 12月19日吉見町吉見観音で毎月行われている子ども食堂「しいの木広場」にブースで参加させていただき、子供服の配布やミニ講座・防災講座の座談会を開催しました。例年開催しているボランティアイベント「マザーズ・デイ」については、2月17日コロナ禍で人が密になる事を避けるため、従来の公共施設ではなく、オンラインにて防災セミナーの開催にチャレンジしました。

事業成果 しいの木広場では団体を知らない地域の方にお話を聞いていただく事ができました。活動を知っていただくためにもさまざまな地域のイベントに防災講座を取り入れてもらえるかお願いしていきます。今回、コロナの影響を受けて取り入れた事は全て団体の活動に良い影響となりました。コロナが落ち着き、今まで行ってきた公共施設での無償ボランティアイベントが開催できたとしても、オンラインによるセミナーを月1回は行っていく予定です。今後も、今回お世話になった講師の方々やほかの専門家のご意見等も聞きながら地域のコミュニケーションを大事にした、防災への意識づくりを行っていきます。

総事業費	464,567 円	助成額	450,000 円
------	-----------	-----	-----------